

5. 能野淳子, 小川朝生, 他, がん患者を対象とした禁煙外来の取り組み, 第24回日本サイコオンコロジー学会, ポスターセッション, 埼玉県さいたま市, 2011
6. 寺田千幸, 小川朝生, 他, 多職種によるテレフォンフォローの試み, 第24回日本サイコオンコロジー学会, ポスターセッション, 埼玉県さいたま市, 2011

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
特記すべきことなし。

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍（外国語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Morita T	Nutrition and hydration in palliative care: Japanese perspectives. Edited by Victor R. Preedy.	Preedy VR	Diet and Nutrition in Palliative Care.	CRC	UK	2011	105-119

書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
清水 研	がん医療に携わるすべての医師のための心のケアガイド			真興交易出版,	東京	2011	
清水 研	うつ病、適応障害	内富庸介・小川朝生	精神腫瘍学	医学書院		2011	96-107
清水 研	不安障害	内富庸介・小川朝生	精神腫瘍学	医学書院		2011	116-119
清水 研	サバイバーシップ	内富庸介・小川朝生	精神腫瘍学	医学書院		2011	318-322
内富庸介	サイコオンコロジーの心身医学ーがん患者の心のケア	石津 宏	専門医のための精神科臨床リュミエール27 精神科領域からみた心身症,	中山書店	東京	2011	175-82
馬場華奈己, 内富庸介	がん患者の心の反応「昨日、膵臓がんだと告げられました」と打ち明けられました	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	1-8
馬場華奈己, 内富庸介	がん患者の心の反応「再発したらしいのですが…」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつな	文光堂	東京	2011	9-16

			がる16事例				
馬場華奈己, 内富庸介	コミュニケーションスキル「もう治療がないと言われたのですが」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	17-22
柚木三由起, 内富庸介, 他	コミュニケーションスキル「ポータブルトイレを使いたくないです」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	23-8
馬場華奈己, 内富庸介	うつ病「消えてなくなりたい・・・と言われたのです。」	内富庸介, 大西秀樹, 小川朝生	がん患者の心のケアこんなときどうする?サイコオンコロジーを学びたいあなたへ一歩進んだケアにつながる16事例	文光堂	東京	2011	80-86
内富庸介	第1章悪性腫瘍	日本総合病院精神医学会治療戦略検討委員会	向精神薬・身体疾患治療薬の相互作用に関する指針 日本総合病院精神医学会治療指針5	星和書店	東京	2011	1-13
明智龍男	かかりつけ医が理解すべきがん患者のこころの変化-診断から終末期まで	池田健一郎	患者・家族の相談に応えるがん診療サポートガイド	南山堂	東京	2011	777-781
明智龍男	がん患者の精神医学的問題	山口徹, 北原光夫, 福井次矢	今日の治療指針	医学書院	東京	2011	882
明智龍男	がん治療における精神的ケアと薬物療法	古瀬純司	消化器がん化学療法ハンドブック	中外医学社	東京	2011	83-90
明智龍男	緩和ケアにおける精神科	永井良三	精神科研修ノート	診断と治療社	東京	2011	73-76
明智龍男	癌患者における幻覚妄想	堀口淳	脳とこころのプライマリケ	シナジー	東京	2011	327-333

			ア 6巻 幻覚 と妄想				
明智龍男	希死念慮	清水研	がん診療に携 わるすべての 医師のための 心のケアガイ ド	真興交 易(株) 医書出 版部	東京	2011	62-65
明智龍男	希死念慮、自殺企図、 自殺	内富庸 介、小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院	東京	2011	108-116
明智龍男	自殺企図	大江裕一 郎、新海 哲、高橋 俊二	がん救急マニ ュアル	メジカ ルレビ ュー社	東京	2011	192-196
明智龍男	心理社会的介入	内富庸 介、小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院	東京	2011	194-201
吉内一浩	幹細胞移植	清水研	がん医療に携 わるすべての 医師のための 心のケアガイ ド	真興交 易出 版、	東京	2011	144-148
松田能宣, 所昭宏, 吉 内一浩.	呼吸器系腫瘍	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	266-267
貫名英之, 所昭宏, 吉 内一浩	消化器系腫瘍(上部)	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	268-269
四宮敏章, 所昭宏, 吉 内一浩	消化器系腫瘍(下部)	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	270-271
松岡弘道, 小山敦子, 吉内一浩	肝・胆・膵における腫 瘍	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	272-273
山田祐, 吉 内一浩	乳がん	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	274-275
松岡弘道, 小山敦子, 吉内一浩	泌尿器系腫瘍	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	276-277
柴山修, 吉 内一浩	頭頸部腫瘍(食道がん を含む)	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	278-279
瀧本禎之, 吉内一浩	婦人科系腫瘍	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	280-281
菊地裕絵, 吉内一浩	造血器腫瘍	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	281-283
嶋本正弥, 吉内一浩	皮膚がん	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	283-284

中西幸子, 吉内一浩	HIV	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	285-286
青野奈々, 所昭宏, 吉内 一浩	内分泌系腫瘍	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	287-288
青野奈々, 所昭宏, 吉内 一浩	原発不明腫瘍	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	289-290
稲田修士, 吉内一浩	中枢神経	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	291-292
八塚麻紀, 吉内一浩	臓器移植をめぐる精神 医学的問題	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	293-295
吉内一浩	国際サイコオンコロジ ー学会.	内富庸 介・小川 朝生	精神腫瘍学	医学書 院		2011	381-383
松本 禎 久、森田 達也	オピオイド投与中にせ ん妄がでたら？	森田達 也・木澤 義之・新 城拓也	エビデンスで 解決！緩和医 療ケースファ イル	南江堂	東京	2011	38-41
松本 禎 久、森田 達也	オピオイド投与中に眠 気がでたら？	森田達 也・木澤 義之・新 城拓也	エビデンスで 解決！緩和医 療ケースファ イル	南江堂	東京	2011	42-45
森田達也	せん妄.	江口研 二, 他	支持・緩和薬物 療法マスター がん治療の副 作用対策.	メジカ ルビュ ー社	東京	2011	146-148
森田達也	緩和ケア普及のための 地域プロジェクト (OPTIM-study) の経過 と今後の課題.	(財)日本 ホスピ ス・緩和 ケア研究 振興財団 「ホスピ ス緩和ケ ア白書」 編集委員 会	ホスピス緩和 ケア白書2011.	(財)日 本ホスピ ス・ 緩和ケ ア研究 振興財 団	東京	2011	24-41
森田達也		森田達也	〈秘伝〉臨床が 変わる緩和ケ アのちょっと したコツ.	青海社	東京	2011	
日本緩和医 療学会 緩和 医療ガイド ライン作成 委員会		日本緩和 医療学会 緩和医療 ガイドラ イン作成 委員会	がん患者の消 化器症状の緩 和に関するガ イドライン 2011年版.	金原出 版	東京	2011	

日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会		日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会	がん患者の呼吸器症状の緩和に関するガイドライン 2011年版.	金原出版	東京	2011	
森田達也		森田達也	臨床をしながらできる国際水準の研究のまとめ方ーがん緩和ケアではこうするー.	青海社	東京	2011	
天野功二, 森田達也:	B実践編 2. 身体症状マネジメントをめぐる問題.	内富庸介, 小川朝生.	精神腫瘍学.	医学書院	東京	2011	65-88
森田達也, 他		森田達也, 他	エビデンスで解決! 緩和医療ケースファイル.	南江堂	東京	2011	
天野功二, 森田達也	第Ⅱ章消化器癌化学療法の実際. 消化器癌化学療法施行時の栄養管理と消化器癌患者に対する緩和医療. 消化器癌患者に対する緩和医療.	大村健二, 他	消化器癌化学療法. 改訂3版.	南山堂	東京	2011	360-375
小川朝生	コンサルテーションとアセスメント	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	52-64
小川朝生	せん妄	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	120-132
小川朝生	認知症	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	133-136
小川朝生	発達障害	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	142-145
小川朝生	薬物間相互作用	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	185-190
小川朝生	高齢者腫瘍学	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	309-317
小川朝生	意思決定能力	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	365-372
小川朝生	ガイドライン作成と各地域での取り組み	内富庸介, 小川朝生	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	383-386
小川朝生	悪性腫瘍	日本総合病院精神医学会治	向精神薬・身体疾患治療薬の相互作用に関	株式会社星和書店	東京	2011	1-13

		療戦略検討委員会	する指針				
<u>小川朝生</u>	患者さんが「治療を受けたくない」と言っています。	<u>内富庸</u> <u>介、大西</u> <u>秀樹、小</u> <u>川朝生</u>	がん患者の心のケア こんなときどうする？:サイコオンコロジーを学びたいあなたへ	文光堂	東京	2011	29-38
<u>小川朝生</u>	「身の置きどころがないのです」	<u>内富庸</u> <u>介、大西</u> <u>秀樹、小</u> <u>川朝生</u>	がん患者の心のケア こんなときどうする？サイコオンコロジーを学びたいあなたへ	文光堂	東京	2011	39-47
<u>小川朝生</u>	化学療法が終わっても「何だかだるい」	<u>内富庸</u> <u>介、大西</u> <u>秀樹、小</u> <u>川朝生</u>	がん患者の心のケア こんなときどうする？サイコオンコロジーを学びたいあなたへ	文光堂	東京	2011	71-79
<u>小川朝生</u>	「胸苦しさが治まりません…」	<u>内富庸</u> <u>介、大西</u> <u>秀樹、小</u> <u>川朝生</u>	がん患者の心のケア こんなときどうする？サイコオンコロジーを学びたいあなたへ	文光堂	東京	2011	87-94
<u>小川朝生</u>	患者さんが怒っています	<u>内富庸</u> <u>介、大西</u> <u>秀樹、小</u> <u>川朝生</u>	がん患者の心のケア こんなときどうする？サイコオンコロジーを学びたいあなたへ	文光堂	東京	2011	102-109
<u>小川朝生</u>	主治医はメンタルをわかっていないみたいです。	<u>内富庸</u> <u>介、大西</u> <u>秀樹、小</u> <u>川朝生</u>	こんなときどうする？サイコオンコロジーを学びたいあなたへ	文光堂	東京	2011	117-124
<u>小川朝生</u>	海外各国の精神腫瘍学の取り組みーガイドラインの作成と各地域での取り組み	<u>内富庸</u> <u>介、小川</u> <u>朝生</u>	精神腫瘍学	医学書院	東京	2011	383-385
<u>小川朝生</u>	認知症・せん妄	清水研	がん診療に携わるすべての医師のための心のケアガイド	真興交易(株)医学書出版部	東京	2011	50-56

小川朝生	緩和ケアチームとの連携	清水研	がん診療に携わるすべての医師のための心のケアガイド	真興交 易(株)医 書出版 部	東京	2011	75-79
------	-------------	-----	---------------------------	--------------------------	----	------	-------

雑誌（外国語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shimizu K, <u>Ogawa A</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Treatment response to psychiatric intervention and predictors of response among cancer patients with adjustment disorders.	J Pain Symptom Manage	41(4)	684-91	2011
Haraguchi T, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Coexistence of TDP-43 and tau pathology in neurodegeneration with brain iron accumulation type 1 (NBIA-1, formerly Hallervorden-Spatz syndrome).	Neuropathology	31(5)	531-9	2011
Ito T, <u>Shimizu K</u> , <u>Ogawa A</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Usefulness of pharmacist-assisted screening and psychiatric referral program for outpatients with cancer undergoing chemotherapy.	Psychooncology	20(6)	647-54	2011
Ishida M, <u>Onishi H</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Psychiatric disorders in patients who lost family members to cancer and asked for medical help: descriptive analysis of outpatient services for bereaved families at Japanese cancer center hospital.	Jpn J Clin Oncol	41(3)	380-5	2011
Terada S, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Suicidal ideation among patients with gender identity disorder.	Psychiatry Res	190(1)	159-62	2011
Kishimoto Y, <u>Uchitomi Y</u> , et al	Kana Pick-out Test and brain perfusion imaging in Alzheimer's disease.	Int Psychogeriatr	23(4)	546-53	2011
Terada S, <u>Uchitomi Y</u> , 他	Perseverative errors on the Wisconsin Card Sorting Test and brain perfusion imaging in mild Alzheimer's disease.	Int Psychogeriatr		1-8	2011
Uchida M, <u>Akechi T</u> , et al	Patients' supportive care needs and psychological distress in advanced breast cancer patients in Japan.	Jpn J Clin Oncol	41(4)	530-6	2011
Sagawa R, <u>Akechi T</u> , et al	Case of intrathecal baclofen-induced psychotic symptoms.	Psychiatry Clin Neurosci	65	300-1	2011
Furukawa TA, <u>Akechi T</u> , et al	Relative indices of treatment effect may be constant across different definitions of	Schizophr Res	126	212-9	2011

	response in schizophrenia trials.				
<u>Akechi T</u> , et al	Social anxiety disorder as a hidden psychiatric comorbidity among cancer patients.	Palliat Support Care	9	103-5	2011
<u>Akechi T</u> , et al	Patient's perceived need and psychological distress and/or quality of life in ambulatory breast cancer patients in Japan.	Psychooncology	20	497-505	2011
Furukawa T, <u>Akechi T</u> , et al	Strategic Use of New generation antidepressants for Depression: SUND study protocol.	Trials	12 (116)		2011
Kobayakawa M, <u>Akechi T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Serum brain-derived neurotrophic factor and antidepressant-naive major depression after lung cancer diagnosis.	Jpn J Clin Oncol	41(10)	1233-1237	2011
Torii K, <u>Akechi T</u> , et al	Reliability and validity of the Japanese version of the Agitated Behaviour in Dementia Scale in Alzheimer's disease: three dimensions of agitated behaviour in dementia.	Psychogeriatrics	11	212-220	2011
Okuyama T, <u>Akechi T</u> , et al	Oncologists' recognition of supportive care needs and symptoms of their patients in a breast cancer outpatient consultation.	Jpn J Clin Oncol	41	1251-1258	2011
Azuma H, <u>Akechi T</u> , et al	Ictal physiological characteristics of remitters during bilateral electroconvulsive therapy. 2011	Psychiatry Res,	185(3)	462-464	2011
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al	Development of a Japanese benefit finding scale (JBFS) for patients with cancer.	Am J Hosp Palliat Care	28(3)	171-175	2011
Kinoshita K, <u>Akechi T</u> , et al	Not only body weight perception but also body mass index is relevant to suicidal ideation and self-harming behavior in Japanese adolescents	Journal of Nervous and Mental Disease			in press
<u>Akechi T</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Good death among elderly cancer patients in Japan based on perspectives of the general population.	Journal of the American Geriatrics Society			in press
<u>Akechi T</u> , <u>Morita T</u> , et al	Dignity therapy- preliminary cross-cultural findings regarding implementation among Japanese advanced cancer	Palliat Med			in press

	patients.				
Fukui S, <u>Yoshiuchi K</u> , et al	Japanese people' s preference for place of end-of-life care and death: a population-based nationwide survey.	Journal of Pain and Symptom Management	42	886-892	2011
<u>Yoshiuchi K</u> , et al	Japan' s nuclear crisis.	Lancet Oncology	12	724-725	2011
Yoshida S, <u>Morita T</u> , et al	Experience with prognostic disclosure of families of Japanese patients with cancer.	J Pain Symptom Manage	41(3)	594-603	2011
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Akechi T</u> , et al	A qualitative study of mindfulness-based meditation therapy in Japanese cancer patients.	Support Care Cancer	19(7)	929-933	2011
Matsuo N, <u>Morita T</u> , et al	Efficacy and undesirable effects of corticosteroid therapy experienced by palliative care specialists in Japan: A nationwide survey.	J Palliat Med	14(7)	840-845	2011
Hirai K, <u>Morita T</u> , et al	Public awareness, knowledge of availability, and readiness for cancer palliative care services: A population-based survey across four regions in Japan.	J Palliat Med	14(8)	918-922	2011
Otani H, <u>Morita T</u> , et al	Burden on oncologists when communicating the discontinuation of anticancer treatment.	Jpn J Clin Oncol	41(8)	999-1006	2011
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Factors that influence the efficacy of bereavement life review therapy for spiritual well-being: a qualitative analysis.	Support Care Cancer	19(2)	309-314	2011
Kizawa Y, <u>Morita T</u> , et al	Development of a nationwide consensus syllabus of palliative medicine for undergraduate medical education in Japan: a modified Delphi method.	Palliat Med	Sep 15	[Epub ahead of print]	2011
Akiyama M, <u>Morita T</u> , et al	Knowledge, beliefs, and concerns about opioids, palliative care, and homecare of advanced cancer patients: a nationwide survey in Japan.	Support Care Cancer	Jun 10	[Epub ahead of print]	2011
Yamaguchi T, <u>Morita T</u> , et al	Longitudinal follow-up study using the distress and impact thermometer in an outpatient chemotherapy setting.	J Pain Symptom Manage	Jun 10	[Epub ahead of print]	2011
Igarashi A, <u>Morita T</u> , et al	A scale for measuring feelings of support and security regarding cancer care in a	J Pain Symptom Manage	Sep 23	[Epub ahead of	2011

	region of Japan: A potential new endpoint of cancer care.			print]	
Komura K, <u>Morita T</u> , et al	Patient-perceived usefulness and practical obstacles of patient-held records for cancer patients in Japan: OPTIM study.	Palliat Med	Dec 16	[Epub ahead of print]	2011
<u>Ogawa, A.</u> , <u>Shimizu, K.</u> , <u>Uchitomi, Y.</u> , et al	Availability of Psychiatric Consultation-Liaison Services as an Integral Component of Palliative Care Programs at Japanese Cancer Hospitals	Jpn J Clin Oncol	In Press		2011
Ueyama, E., <u>Ogawa, A.</u> , et al	Chronic repetitive transcranial magnetic stimulation increases hippocampal neurogenesis in rats	Psychiatry Clin Neurosci	65	77-81	2011
Shirai, Y., <u>Ogawa, A.</u> , <u>Uchitomi, Y.</u> , et al	Patients' perception of the usefulness of a question prompt sheet for advanced cancer patients when deciding the initial treatment: a randomized, controlled trial	Psychooncology	In Press		2011

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
清水研	がん患者に合併する抑うつ-臨床の実際	分子精神医学	11	81-83	2011
<u>内富庸介</u>	がんを抱えたときの心構え	おかやま ころの健康	53	4-13	2011
井上真一郎, <u>内富庸介</u>	せん妄の要因と診断	がん患者と対象療法	22(1)	6-11	2011
<u>内富庸介</u>	高齢者がん医療にもっと心の医療を	週刊日本医事新報,	4545	1	2011
<u>内富庸介</u>	ホスピスケアと家族-その抑うつと自殺について-	アディクションと家族	27(4)	315-22	2011
井上真一郎, <u>内富庸介</u> , 他	高齢者うつ病にmirtazapine使用后、せん妄を来した4例	臨床精神薬理	14(6)	1057-62	2011
<u>内富庸介</u>	コンサルテーション・リエゾン精神医学研究の将来展望	学術の動向	16(7)	42-5	2011
白井由紀, <u>内富庸介</u>	がん患者・家族の意思決定補助ツールとしての質問促進パンフレット	腫瘍内科	8(1)	57-64	2011
<u>内富庸介</u>	メンタルケアはますます重要になる	がんから身を守る予防と検診	31	142-52	2011
<u>内富庸介</u>	がん医療における心のケア	社団法人 広島県病院協会会報	89	35-45	2011
武田雅俊, <u>内富庸介</u> , 他	症状性を含む器質性精神障害の症例	臨床精神医学	40(10)	1249-65	2011

内富庸介	災害とうつ病およびその関連疾患	Depression Frontier	9(2)	7-10	2011
井上真一郎, 内富庸介, 他	治療抵抗性統合失調症に対し clozapineを投与後、薬剤性の胸水、胸膜炎をきたし、投与中止・再投与開始後に好中球減少症がみられた1例.	臨床精神薬理	14(12)	1983-89	2011
奥山徹, 明智龍男	高齢がん患者において頻度の高い精神疾患とそのマネージメント	腫瘍内科	8	270-275	2011
明智龍男	かかりつけ医が理解すべきがん患者のこころの変化-診断から終末期まで	治療	93	777-781	2011
明智龍男	がんの部位と進行度別にみた精神症状の特徴とそれに応じた対応	精神科治療学	26	937-942	2011
明智龍男	緩和ケアを受けるがん患者の実存的苦痛の精神療法-構造をもった精神療法	精神科治療学	23	821-827	2011
明智龍男	気持ちのつらさ	がん治療レクチャー	2	578-582	2011
吉内一浩	がん医療における心身医学的アプローチ	心身医学	51	687-691	2011
松本 禎久 他	胆道・膵癌における緩和ケア	胆と膵	32	333-336	2011
松本 禎久	オピオイド③ オキシコドン	がん治療レクチャー	2	497-501	2011
松本 禎久	眠気が不快だと言われたらどうするか?	緩和ケア	21	128-131	2011
松本 禎久 他	痛み止めの投与経路-最近の動向	Drug Delivery System	26	476-479	2011
森田達也	経験したことを伝えていこう 研究論文の書き方 第4回「結果・考察」を書く.	緩和ケア	21(1)	55-60	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	がん患者に対する介護保険手続きの迅速化の効果.	緩和ケア	21(1)	102-107	2011
厨芽衣子, 森田達也, 奥山徹, 他	論文を読み、理解する—Early palliative care for patients with metastatic non-small-cell lung cancer—	緩和ケア	21(2)	170-178	2011
赤澤輝和, 森田達也, 他	緩和ケアの啓発用冊子を病院内のどこに置いたらよいか?	緩和ケア	21(2)	221-225	2011
杉浦宗敏, 森田達也, 他	がん診療連携拠点病院における緩和ケア提供に関する薬剤業務等の全国調査.	日本緩和医療薬学雑誌	4(1)	23-30	2011
森田達也	泌尿器系難治症状の緩和 がん性疼痛ガイドラインのエッセンス 緩和医療学会がん疼痛ガイドラインのエッセンス.	日本泌尿器科学会雑誌	102(2)	205	2011

森田達也	緩和ケア普及のための地域プロジェクト—浜松地域のあゆみと今後の課題—.	大阪保険医雑誌	39(53 3)	10-17	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	病院と地域とで行う連携ノウハウ 共有会とデスクカンファレンスの参加者の体験.	緩和ケア	21(3)	335-342	2011
森田達也, 他	特集 がん疼痛治療の最新情報 早期緩和ケア導入によるがん治療の影響と効果.	Progress in Medicine	31(5)	1189-11 93	2011
高田知季, 森田達也, 他	基幹病院における緩和医療. 麻酔 科医出身のペインクリニシャンが 関わる緩和医療.	ペインクリニック	32(6)	845-856	2011
清原恵美, 森田達也, 他	地域における緩和ケア病棟の役割 —緩和ケア病棟における地域の看護 師を対象とした研修の評価—.	死の臨床	34(1)	110-115	2011
森田達也, 他	臨床現場が必要とする緩和ケアを 提供するために院内外“ゆるやかな ネットワーク”づくりに力を注ぐ.	Watches	5	7-9	2011
山岸暁美, 森田達也, 他	在宅緩和ケアに関する望ましいリ ソースデータベースとは何か?— 多地域多職種を対象とした質的研 究.	緩和ケア	21(4)	443-448	2011
小田切拓也, 森田達 也	ケアの実際 Q24. 予後予測.	がん治療レクチャ ー	2(3)	589-593	2011
森田達也, 他	第Ⅱ部 がん疼痛ガイドラインにつ いてのわたしの本音 1. がん疼痛 ガイドラインを現場ではこう実 践しています【医師編】. 解説 がん 疼痛ガイドライン—現場で生きる わたしの工夫—.	緩和ケア	21(8 月増 刊号)	154-174	2011
末田千恵, 森田達也, 他	どのような緩和ケアセミナーが求 められているか:4, 188名が評価し た緩和ケアセミナーの有用性に影 響する要因.	ペインクリニック	32(8)	1215-12 22	2011
森田達也	ガイドラインを読むために知って おきたい臨床疫学の知識 2. 緩和 ケア領域の臨床研究の読み方. 解 説 がん疼痛ガイドライン—現場 で生きるわたしの工夫—	緩和ケア	21(8 月増 刊号)	191-192	2011
村上敏史, 森田達也, 他	がん疼痛ガイドラインの分かりや すい解説と枚ルール オピオイド の導入の仕方 オピオイドを投与 する時に何をどう選ぶか?.	緩和ケア	21(8 月増 刊)	25-35	2011
森田達也, 他	多施設との医療連携の現状:緩和 ケア普及のための地域プロジェクト (OPTIM-study) 浜松地域のあゆ みと今後の課題.	最新精神医学	16(5)	563-572	2011
井村千鶴, 森田達也, 他	在宅死亡したがん患者の遺族によ る退院前カンファレンス・退院前 訪問の評価.	緩和ケア	21(5)	533-541	2011

鈴木留美, 森田達也, 他	「生活のしやすさ質問票 第3版」を用いた外来化学療法患者の症状頻度・ニードおよび専門サービス相談希望の調査.	緩和ケア	21(5)	542-548	2011
小田切拓也, 森田達也, 他	原因不明の神経症状と疼痛で緩和ケアチームに紹介された患者の疼痛の原因と転帰.	ペインクリニック	32(9)	1423-1426	2011
鄭陽, 森田達也, 他	難治性の膀胱症状に対して上下腹神経叢ブロックが有効であった一症例.	日本ペインクリニック学会誌	18(4)	404	2011
川口知香, 森田達也, 他	呼吸器内科病棟における肺癌患者の呼吸困難に対するケアの現状.	日本癌治療学会誌	46(2)	890	2011
森田達也	緩和ケアの地域関連OPTIMプロジェクト浜松 地域リソースの「オペティマイズ=最大活用」と網目のようなネットワークが緩和ケア普及の鍵.	Medical Partnering	56	1-5	2011
森田達也	地域連携のさまざまなスタイルを発見 医師の「地域連携力」を鍛える.	Doctor's Career Monthly	31	21	2011
古村和恵, 森田達也, 他	進行がん患者と遺族のがん治療と緩和ケアに対する要望—821名の自由記述からの示唆.	Palliat Care Res	6(2)	237-245	2011
森田達也	グッドデス概念って何?.	緩和ケア	21(6)	632-635	2011
小野宏志, 森田達也, 他	地域の多職種で作成した調査票を用いた在宅死亡がん患者の遺族による多機関多職種の評価.	緩和ケア	21(6)	655-663	2011
山岸暁美, 森田達也, 他	地域のがん緩和ケアの課題と解決策の抽出—OPTIM-Studyによる複数地域・多職種による評価—.	癌と化学療法	38(11)	1889-1895	2011
小川朝生	(Q)transcranial magnetic stimulation(TMS)の実施状況	日本医事新報		55-56	2011
小川朝生	「怒る」患者—隠れているせん妄をみつける	看護技術	57	70-73	2011
小川朝生	せん妄を家族に説明する	看護技術	57	172-175	2011
小川朝生	せん妄と認知症の症状の見分け方	看護技術	57	66-69	2011
小川朝生	せん妄患者への声のかけ方	看護技術	57	565-568	2011
小川朝生	レスキューが効かない痛み	看護技術	57	337-340	2011
小川朝生	あなたみたいな若い人にはわからないわよ	看護技術	57	668-671	2011

小川朝生	患者だけではなく家族も不安	看護技術	57	741-744	2011
小川朝生	告知の後に患者さんが泣いています	看護技術		846-849	2011
小川朝生	傾聴で解決できること、できないこと	看護技術		932-935	2011
小川朝生	予期悲嘆は起こさなければならないのか	看護技術		1023-1025	2011
小川朝生	患者さんのことを主治医に相談しても話になりません	看護技術		1252-1255	2011
小川朝生	あなたは大丈夫？	看護技術		1356-1359	2011
小川朝生	終末期がん患者における精神刺激薬の使用	精神科治療学	26	857-864	2011
小川朝生	SHAREを用いた化学療法中止の伝え方	がん患者ケア	5	3-7	2011
小川朝生	新しい向精神薬を活用する	緩和ケア	21	606-610	2011
小川朝生	がん患者における医療用麻薬および向精神薬の実態調査	医療薬学	37	437-441	2011
小川朝生	ガイドラインの分かりやすい解説	緩和ケア	21	132-133	2011
小川朝生	臨床への適用と私の使い方	緩和ケア	21	134-135	2011
小川朝生	特集にあたって	レジデントノート	13	1194-1195	2011
小川朝生	入院患者の不眠とせん妄を鑑別するポイントを教えてください	レジデントノート	13	1215-1219	2011
小川朝生	統合失調症	看護学生	58	26-30	2011
小川朝生	がん専門病院の立場から	外来精神医療	11	17-19	2011
小川朝生	家族の心理状態について	ホスピスケア	22	30-55	2011
小川朝生	平成22年度厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会	Medical Tribune	44	22	2011
小川朝生	Cancer-brainとうつ病	Depression Frontier	9	85-92	2011

